

秋播きコムギ後の線虫・土壌病害対策



根菜類の線虫対策、豆類の前作に 【アウエナストリゴサ (エンバク野生種)】品種 **ヘイオーツ**

規 格
20kg/袋



特 性

- ダイコン、ニンジン、コボウなどの根もの野菜類で問題となるキタネグサレセンチュウを減らす
- ジャガイモそうか病、アズキ落葉病、コムギ萎縮病による被害を軽減！

栽培方法

- 播種期：4月下旬～6月中旬、7月下旬～8月中旬、8月下旬～9月上旬 ※高温時の早播きは避けてください。
- 播種量：10～15kg/10a（線虫対策には15kg、9月播種は20kg）
- すき込み期：7月上旬～8月中旬、10月中旬～下旬

露地やハウスの線虫対策に

2024北海道
新発売

【パールミレット】ネマレット (品種 ADR300)

規 格
1kg×20袋入
25kg/袋



特 性

- キタネグサレセンチュウとサツマイモネコブセンチュウを減らす
- 酸性土壌や粘土質土壌などでも良く生育し、短期間でも収量が確保できる

栽培方法

- 播種期：6月上旬～8月上旬
- 播種量：3～4kg/10a
- すき込み期：8月上旬～10月中旬

生物的くん蒸作物 【カラシナ】品種 **辛神**

PVP 海外持出禁止
(農林水産大臣公示)

規 格
1kg×20袋入
20kg/袋



特 性

- 辛み成分を高含有する品種
- テンサイ根腐病やコムギ立枯病、ホウレンソウ萎凋病などの土壌病害の被害軽減に

栽培方法

- 播種期：露地 5月、8月（夏播きはできるだけ早めに）
ハウス 2～4月、8月
- 播種量：1.0～1.5kg/10a（コート種子）
- すき込み期：着蕾～開花始の茎葉部の多い時期

ジャガイモシストセンチュウ対抗植物 【ソラムベルウィアナム (トマト野生種)】品種 **ポテモン**

PVP 海外持出禁止
(農林水産大臣公示)

規 格
1kg×20袋入



特 性

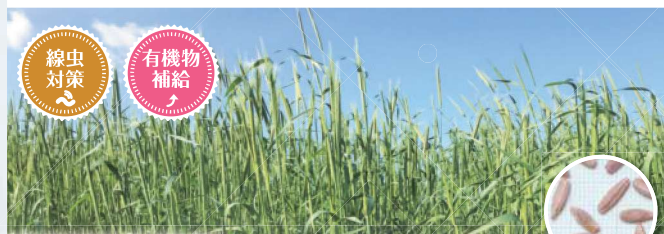
- ジャガイモシストセンチュウの寄主となり、栽培期間中に線虫密度を減らす対抗植物
- 春播きの方が生育は良好で、線虫密度低減効果が高い

栽培方法

- 播種期：6月中旬～7月上旬（遅霜を避ける）
8月上旬（夏播きは出来るだけ早めに）
- 播種量：0.7～1.0kg/10a（エアシーダー利用の場合は320～460g/10a）
- すき込み期：播種60～80日後

キタネグサレセンチュウ対抗植物 【ライムギ】R-007 (品種 ウィーラー)

規 格
20kg/袋



特 性

- 従来のライムギと比べて、越冬利用でキタネグサレセンチュウを減らす
- 越冬利用で早春の土壌流亡を抑制
- 9月播きであればエンバクよりも生育が旺盛

栽培方法

- 播種期：年内利用：8月下旬～9月上旬
越冬利用：9月中旬～下旬
- 播種量：10～15kg/10a（線虫対策には15kg/10a）
- すき込み期：10月～11月（年内利用）、翌年5月～6月（越冬利用）

ダイズシストセンチュウ対抗植物 【クリムゾンクローバ】品種 **くれない**

規 格
500g×40袋入



特 性

- ダイズやアズキに被害をもたらすダイズシストセンチュウ対抗植物
- 春播きで開花し景観緑肥としても適する
- 根粒菌による窒素固定で地力増進におすすめ

栽培方法

- 播種期：4月下旬～6月中旬
7月下旬～8月上旬（線虫対策は早期播種がポイント）
- 播種量：2～3kg/10a
- すき込み期：7月～8月、10月

その他の緑肥作物



【シロガラシ】キカラシ (品種 メテックス)

規 格
1kg×20袋入



- 景観美化
- 有機物補給
- テンサイの前作に適する (収量性を改善)
- 鮮やかな黄色い花が咲き、景観緑肥として適する
- 発芽と初期生育が良好

○ 播種量：2～3kg/10a

【ハゼリソウ】品種 アンジェリア

規 格
1kg×20袋入



- 生育旺盛で、雑草や表土の土壌流亡防止に適する
- 花はやさしい紫色
- 春播きでヘイオーツ並みに多収

○ 播種量：2～3kg/10a 注意事項：種子が小さいので、丁寧に播種してください

【アカクローバ】品種 メジウム

規 格
1kg×20袋入



- 線虫対策
- チッソ減肥
- 遊休地の地力対策や秋播きコムギ、ソバの間作に
- ダイズシストセンチュウ対抗植物
- 根粒菌による窒素固定で地力増進におすすめ

○ 播種量：2～3kg/10a

コムギ間作利用は3～4kg/10a、ソバ間作利用は3kg/10a

【トウモロコシ】品種 SH9599

規 格
5万粒/袋



- 有機物補給
- 線虫対策
- 休閑利用で粗大有機物確保に
- 播種期は5月～6月

○ 播種量：8,000本/10a程度

【スーダングラス】ねまへらそう (品種 スーパーダン2)

規 格
1kg×20袋入



- ドリフト防止
- 線虫対策
- キタネグサレセンチュウを減らす
- コムギ前作の有機物補給に
- 夏場のドリフト対策の障壁作物として利用可

○ 播種量：5kg/10a 注意事項：必ず覆土と鎮圧をしてください

【ソルガム】つちたろう (品種 ジャンボ)

規 格
1kg×20袋入



- ドリフト防止
- 線虫対策
- 施設ハウスのトマト・キュウリの大敵であるサツマイモネコブセンチュウを撃退
- 無施肥栽培で、ハウスのクリーニングクロープにも
- 夏場のドリフト対策の障壁作物として利用可

○ 播種量：5kg/10a

【エンバク】品種 とちゆたか

規 格
22.5kg/袋



- ドリフト防止
- 耐倒伏性に優れる直立性エンバク
- 春から初夏のドリフト対策の障壁作物としても利用可

○ 播種量：10～15kg/10a

農薬のドリフト対策の利用は5～8kg/10a

【エンバク】品種 スナイパー

PVP
海外持出禁止
(農林水産大臣公示有)

規 格
1kg×20袋入



- 有機物補給
- 線虫対策
- エンバク品種スワンよりもさらに早生タイプのエンバク
- ハウス栽培後や春先の有機物補給に (ハウス栽培は残肥を利用)
- 11月播きのハウス利用でサツマイモネコブセンチュウを抑制

○ 播種量：10kg/10a

【ヘアリーベッチ】 まめ助 (品種 ナモイ)

規格
1kg×20袋入


- 夏播きで多収なマメ科緑肥
 - 根粒菌による窒素固定で地力増進におすすめ
 - 初期の雑草抑制や表土の土壌流亡対策に
- 播種量：5kg/10a

【ヘアリーベッチ】 藤えもん (品種 マッサ)

規格
1kg×20袋入


- 耐湿性と低温伸長性に優れる
 - 根粒菌による窒素固定で地力増進におすすめ
- 播種量：4～5kg/10a
- 注意事項：越冬する場合もあるのでしっかりとすき込んでください

科 名	種類	品種 ※品種名と商品名が異なる品目は、品種名を（ ）書きで記載しております。	播種量 (kg/10a)		施肥量の目安 1) N：P：K (kg/10a)	減肥の目安 N：K (kg/10a)	炭素率 (C/N 比)	播種期 (月・旬)		すき込み期 (月・旬)
イネ科	アウエナ ストリゴサ (エンバク 野生種)	ハイオーツ	10-15		5：5：0-5	0-4：0-4	15-30	4下～6中 7下～9上 ※高温時の早播きは避ける。		7上～8中 10中～下
	エンバク	スナイパー 3) PVP	10		4-6：5-10：0-5	0-4：0-4	15-30	露地 二重 / 加温ハウス	8下～9上 11 月	10 月 翌年 3 月
		とちゆたか	後作・休閒 間作	10-15 5-8	4-6：5-10：0-5	0-4：0-4	15-30	4下～6中 7下～8中		播種後 60 日 出穂を目安
		スワン	15-20		4-6：5-10：0-5	0-4：0-4	15-30	7下～8中		10中～下
	ライムギ	R-007 (ウィーラー)	10-15		4-6：5-10：0-6	2-3：0-5	15-20	年内 越冬	8下～9上 9中～下	10～11 月 翌年 5～6 月 (出穂を目安)
	スーダングラス	ねまへらそう (スーパーダン 2)	5		6-10：6-10：0-10	0-4：0-8	20-30	露地 ハウス	6～7 月 5～8 月	8～9 月 7～10 月
	ソルガム	つちたろう (ジャンボ)	露地	5	8-10：8-12：0-10	0：0-8	30-45	露地	6～7 月	8～9 月
			ハウス		3-8：3-8：0-8	0-4：0-6	20-40	ハウス	5～8 月	7～10 月
	パールミレット	ネマレット (ADR300)	露地	3～4	6-10：6-10：0-10	0-4：0-8	15-30	6上～8上		7～10 月
			ハウス		3-8：3-8：0-8	0-4：0-6	15-30			8上～10上
	トウモロコシ	SH9599	8,000 粒 /10a 程度		8-12：12-16：0-12	0：0-10	30-35	5～6 月		9～10 月
イネ科 マメ科	まめ助 とちゆたか 混播セット	まめゆたか	休閒	8	4-8：6-8：0-8	0-4：0-6	20-30	5上～6中		7中～8中
			後作		3-6：6-8：0-6	2-4：0-5	15-25	7下～8下		10中～下
マメ科	ヘアリーベッチ	まめ助 (ナモイ)	5		2-5：5：0-5	3-5：0-4	10-15	5上～6中 7下～8中		7中～8中 10中～下
		藤えもん (マッサ)	4-5		2-5：5：0-5	3-5：0-4	10-15	5上～6中 7下～8中		7中～8中 10中～下
		寒太郎 (サパン)	5		2-5：5：0-5	3-5：0-4	10-15	5上～6中 9 月		7中～8中 翌年 4～7 月
	クリムソン クローバ	くれない	2-3		3-4：8-12：0-6	2-4：0-5	15-20	4下～6中 7下～8上		7～8 月 10 月
	アカクローバ	メジウム	休閒	2-3	2-4：8-12：0-5	5-6：0-4	11-15	5～6 月		9～10 月
コムギ間作			3-4	0-2：0-5：0	2-4：0	10-13	4 月 (出来るだけ早く)		9～10 月	
アブラナ 科	カラシナ	辛 神 3) 4) PVP	休閒	1.0-1.5	8-10：5-10：0-7	1-3：0-6	15-20	露地	5 月	6下～7上
			後作			2-4：0-6	12-20	ハウス	2～4 月	4～6 月
	シロガラシ	キカラシ (メテックス) 4)	休閒	2-3	5-8：5-10：0-7	2-5：0-6	15-25	4下～6中		6下～7下
			後作			4-6：0-6	12-20	7下～8下		10 月
ムラサキ 科	ハゼリソウ	アンジェリア	2-3		5：5：0-5	0-4：0-4	15-25	5～6 月		開花後
ナス科	ソラヌム ペルウィアヌム (トマト野生種)	ポテモン 3) PVP	0.7-1.0		8-10：8-10：0-10	0-4：0-8	10-15	6中～7上 8上		播種後 60～80 日を目安

◎：おすすめ ○：適する 後作物の無印は普通とする。 1) 北海道緑作物等栽培指針 (北海道農政部、2004年) を参考に作成。2) サツマイモネコブセンチュウ

【ヘアリーベッチ】寒太郎 (品種 サバン)

規 格
1kg×20袋入



- チッソ 減肥
- 雑草 抑制
- 越冬性と耐湿性に優れる
- 晩生で生育期間が長く、長期にわたり雑草抑制効果が期待できる
- 根粒菌による窒素固定で地力増進におすすめ
- 播種量：5kg/10a

まめゆたか ヘアリーベッチと
エンバクの混播セット

規 格
まめ助 10kg
品種 とちゆたか 6kg



- 有機物 補給
- チッソ 減肥
- 8月下旬でも播種が可能な混播セット
- 直立性の品種とちゆたかにまめ助が絡まることで草姿が立性に
- 播種量：まめ助5kg・品種とちゆたか3kg/10a

	特 性	線虫抑制					緑肥作物の効果							後作物				利用体系							
		カタネグサレ	カタネコフ	ダイズシスト	2サツマイモネコフ	ジャガイモシスト	有機物の補給	空中窒素の固定	菌根菌の増殖	透水性の改善	塩類除去	土壌保全	防風・隔離作物	景観美化	テンサイ	ジャガイモ	マメ類	コムギ	園芸作物	休 閑	短期休 閑	後 作	間 作	越 冬	ハウス
	初期生育旺盛、細茎・多葉で多収。 カタネグサレセンチュウ對抗植物。 センチュウ対策は 15kg/10a、9月播きは 20kg/10a。	◎	◎				◎		◎	○	○	◎			○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎			○
	エンバク「品種スワン」より早生のエンバク。 ハウス栽培後や春先の有機物補給に（ハウス栽培は残肥を利用）。 一重ハウスにて栽培する場合は 8月下旬～9月上旬に播種。 11月播きのハウス利用でサツマイモネコブセンチュウを抑制。		◎		◎		○		○	○		○						○			○	◎			◎
	耐病・耐倒伏性に優れる直立性のエンバク。 園芸作物や早春の防風作物に適する。 ドリフトガードクロップとして利用できる。		◎				○		○	○		○	◎								◎	○			
	早生エンバク。		◎				○		○	○		○									○	◎			
	タマネギの後作緑肥に適する （保肥力の増加や土を柔らかくする）。 越冬させて早春の土壌浸食防止に適する。 ドリフトガードクロップとして利用できる。 越冬栽培でカタネグサレセンチュウを減らす。	○	◎				◎		○	○		◎	◎					○			○	◎			◎
	カタネグサレセンチュウを減らす。 秋播きコムギ前の休閑利用に適する。栽培期間が長く、多収。 ドリフトガードクロップとして利用できる。	○	◎				◎		○	○	◎	○	○				○	◎	◎	◎					◎
	種子が小粒でスタンド形成が良好。 ドリフトガードクロップとして利用できる。		◎		◎		◎		○	○	◎	○	○				○	○	◎	◎					◎
	サツマイモネコブセンチュウ對抗植物。 クリーニングクロップは無施肥で栽培する。															○	○	◎	◎						◎
	カタネグサレセンチュウ、サツマイモネコブセンチュウの密度を低減する。土壌を選ばず良く生育し、短期栽培でも収量を確保できる。	◎	◎		○		◎		○	○	◎	○					○	◎	◎	◎	◎	○			◎
	遊休農地の地力向上に利用可能。休閑利用で粗大有機物確保に。		◎				◎		◎	○	◎	○	○				○	○		◎					○
	直立性エンバク「品種とちゆたか」とヘアリーベッチ「まめ助」との混播。 8月下旬播種でも可能なセット。 根粒菌により空中窒素を固定し、地力を増強。							○	◎	◎	○		○		◎	○					○	◎			
	夏播きで多収なマメ科緑肥作物。根粒菌により空中窒素を固定し、地力を増強。コムギや早出し作物後に播種できる。							○	◎	◎		◎		◎	○		◎				○	◎			
	耐湿性と低温伸長性に優れる。根粒菌により空中窒素を固定し、地力を増強。越冬する場合もあるので、しっかりと蒔き込む。							○	◎	◎		◎	○	◎	○		◎				○	◎			
	越冬性と耐湿性に優れる。根粒菌により空中窒素を固定し、地力を増強。長期栽培で雑草抑制が期待できる。 播種期が遅れると越冬しない場合があるため注意。							◎	◎	◎		◎		○	◎	○		◎		◎	○	○			◎
	ダイズシストセンチュウ對抗植物。 根粒菌により空中窒素を固定し、地力を増強。 深紅の花が景観美化に適する（春播きのみ開花）。			◎				○	◎	◎		◎		◎		○	○	◎			◎	○			
	根粒菌により空中窒素を固定し、地力を増強。ダイズシストセンチュウ對抗植物。コムギ間作は適度に土壌水分があるうちに播種する。ソバ間作の播種量は 3kg/10a、施肥はソバに合わせる。			◎				○	◎	◎		◎		○	○	○	◎		◎			◎			
	辛みの成分含量が高いアブラナ科緑肥作物。着蕾～開花始の茎葉部の多い時期にできるだけ細断してすき込む。ハウス等残肥が多い場合は無施肥でも可。景観緑肥にはキカラシの方が良い。 テンサイ根腐病、ホウレンソウ萎凋病、コムギ立枯病の発病軽減効果が期待できる。							○				○		○	◎		○				○	◎			○
	8月上旬までにできるだけ播種を終える。 ハウス等残肥が多い場合は無施肥でも可。																								
	生育旺盛で多収。テンサイの前作に適する（収量性を改善）。鮮やかな黄色い花をつける。							◎				○		◎	◎		○				○	◎			○
	春播きで生育旺盛、被覆が早く雑草対策となる。きれいな紫色の花が咲き、蜂花植物としても適する。花は 8月まで楽しめる。 前作で栽培すると長ネギの生育が良好（都府県で実証）。							◎				◎		◎				○			◎				
	ジャガイモシストセンチュウ對抗植物 （春播きの方が密度低減効果が高い）。					◎													◎		○				

の系統によっては抵抗性を示さないものがあります。3) 海外持出禁止（農林水産大臣公示有）。4) アブラナ科野菜の根こぶ病発生圃場でのご使用は避けてください。

主要除草剤

※飼料用トウモロコシに適用のある殺虫剤、殺菌剤、忌避剤はP.19をご参照ください。

適用作物	対象雑草					除草剤名 (製品規格)	使用方法	使用時期	10a当り使用量	注意事項
	シロサ	タテ類	ハコベ	ツユクサ	イチビ					
飼料用トウモロコシ	●	●	●			ゲザプリムフロアブル (1L)	全面土壌 散布	播種後出芽前 (雑草発生前)	100～200ml	●砂土系で透水性のよい圃場や、多量の降雨の続く時期の散布は薬害の恐れがあるので使用を避ける。 ●トウモロコシ2～4葉期の茎葉処理において、ハルカヤの実生に効果がある。
	●	●	●	●			全面土壌散布及び 雑草茎葉散布	トウモロコシ2～4葉期 (雑草発生前期)		
	●	●	●		●	ゲザノンゴールド (1L)	全面土壌 散布	播種後出芽前 (雑草発生前)	140～200ml	●砂土では使用しない。●極端な過湿土壌及び砂質土壌では、生育を抑制することがあるので、薬量を少なくする。 ●砂土では使用しない。●極端な過湿土壌及び砂質土壌では、生育を抑制することがあるので、薬量を少なくする。 ●低温等で生育が遅れている場合には、カスリ状の褪緑斑を生ずることがあるので、薬量を少なくする。●後作物として当年または翌年の水稲栽培は避ける。●生育の遅れる地域（根創）などでは、2葉期に散布する。
	●	●	●	●	●		トウモロコシの2～4葉期	140～200ml		
					●	ラッソー乳剤 (500ml、5L)	全面土壌 散布	播種後出芽前 (雑草発生前)	200～400ml	●土壌が乾いていると効果が劣る。 ●粘土質土壌では、所定の範囲内で多めの薬量を使用する。
							雑草茎葉散布 又は全面土壌散布	トウモロコシ1～2葉期、 イネ科雑草2葉期まで	200～400ml	
	●	●	●	●	●	モーティブ乳剤 (500ml、5L)	全面土壌 散布	播種後トウモロコシ2葉期、 イネ科雑草2葉期まで	200～400ml	●砂土では使用しない。 ●後作物としてかぼちゃ等のうり科、ほうれんそうやそばを作付すると生育を抑制することがあるので避ける。 ●散布時の展開葉に一過性の薬害（黄斑）を生じる場合があるが、その後の生育、収量には影響はない。 ●他の除草剤（ワンホープ乳剤・シャドー水剤）との混用は薬害の恐れがあるので、混用しない。
	●	●	●	●	●		アルファード液剤 (500ml、3L)	トウモロコシ3～7葉期 (収穫45日前まで)	100～150ml	
	●	●	●	●		バサグラン液剤 (500m、3L)		広葉雑草の3～4葉期 (収穫50日前まで)	100ml	●散布後、曇天、降雨日が長く続くことと効果が劣ることがあるので、晴天を見計らって散布する。●高温条件下では薬害が生じやすいので、異常高温下での散布は避ける。
	●	●	●	●	●		トウモロコシ3～5葉期 ただし、収穫45日前まで	40～50ml		
	●	●	●		●	ブルーシアフロアブル (500ml、2L)	雑草茎葉散布 又は全面散布	トウモロコシ6～7葉期 ただし、収穫45日前まで	50～75ml	●雑草発生の多い圃場では、初期生育での競合が懸念されるため、土壌処理などの併用が望ましい。
	●	●	●	●	●					
	●	●	●	●		ワンホープ乳剤 (500ml、5L)		トウモロコシ3～5葉期 (収穫30日前まで)	100～150ml	●品種によって薬害が生じる恐れがあるので注意する。 ●散布機械器具は家庭用洗剤等による十分な洗浄を行う。 ●有機リン系殺虫剤との混用及び7日以内の近接散布は薬害を生じることがあるので避ける。●シバムギ、レッドトップに効果がある。
	●	●	●	●	●		ワンホープエースOD (500ml、5L)	トウモロコシ3～5葉期 ただし、収穫45日前まで	100～200ml	
●	●	●	●	●	ラウンドアップ マックスロード (200ml、1L、5.5L、 20L、200L)	雑草茎葉散布	不耕起、播種後出芽前 (雑草生育期)	200～400ml (水50L)	●トウモロコシ出芽後の使用は枯死するので避ける。●専用ノズルを使用する。●泥炭土での使用は避ける。	
●	●	●	●	●						
	ギンギン類					ハーモニ-DF (10g、50g)		飼料用トウモロコシ3～4葉期 (雑草生育期)	2g	●砂土では使用しない。●有機リン系殺虫剤との混用および7日以内の近接散布は、薬害を生じることがあるので避ける。●薬害が生ずるおそれがあるため必ず所定量及び使用時期を守り、均一に散布する。●器具類はできるだけ早く専用の洗浄剤で洗浄する。
アルファアルファ	ギンギン類					アーザラン液剤 (500ml、2L)	雑草茎葉散布 又は全面散布	秋期新播草地のギンギン類の 栄養成長期（最終採草後） 本葉3～4葉期	新播草地 200～300ml	●処理後一時的に生育抑制及び黄化が見られることがある。●単播草地に適用する。●秋期播種の場合には翌春処理が望ましい。●散布後14日間は放牧はしない。●秋期散布は最終採草後に行う。 ●春期における高薬量処理の場合に、混播イネ科牧草に生育抑制及び黄化が見られることがある。●採草直後の散布は避ける。●散布後に実生が発生する場合が多いので、春期と秋期の体系処理が必要である。●散布後14日間は放牧・採草はしない。●秋期散布は最終採草後に行う。
					経年草地：春処理（5月上～下旬）（採草14日前まで）			経年草地 200～300ml		
					経年草地：秋処理（10月上～中旬）（最終採草後）			経年草地 300～400ml		
						経年草地の夏処理及び秋処理 （採草21日前まで）	3g			
草地（経年草地）	ギンギン類					ハーモニ-DF (10g、50g)		夏及び秋処理 （採草21日前まで）	3g	●イネ科単播経年草地及びアルファアルファとの混播草地。●クローバに対する薬害が著しい。●散布後21日間は採草・放牧を行わない。●散布後は直ちに専用の洗浄剤でタンクやホース内を洗浄する。
	ギンギン類					アーザラン液剤 (500ml、2L)	雑草茎葉散布 又は全面散布	春処理（5月上～下旬） ギンギン類の栄養成長期 （採草14日前まで）	200～300ml	●高温時又は降雨前の散布は避ける。●重複散布は避ける。●採草・放牧直後の散布は避ける。●散布後14日間は放牧・採草を行わない。●局所処理は50～80倍液を1株当たり約25ml。●局所散布した周辺の牧草は飼料にしない。 ●夏、秋播種草地への散布は避ける。●当年はギンギン類の黄化のみで翌年春に枯死する。●秋期散布は最終採草後に行う。●散布後14日間は放牧を行わない。
	ギンギン類							秋処理（10月上～中旬） ギンギン類の栄養成長期 （最終採草後）	300～400ml	
	ギンギン類					バンペル-D液剤（1L）	雑草茎葉散布	秋期最終刈取後30日以内	75～100ml （水100L）	●マメ科牧草には薬害を生じるので、イネ科草地で使用する。●秋期散布した牧草は使用しない。
草地（新播）	ギンギン類					ハーモニ-DF (10g、50g)	雑草茎葉散布 又は全面散布	夏処理及び秋処理、夏播種牧草定着後、 ギンギン類の草丈20cm以下	0.5～1g （水100L）	●クローバに対する薬害が著しい。●茎葉処理剤のためギンギン類の葉が展開してから行う。●散布後21日間は採草・放牧を行わない。 ●夏、秋播種草地への散布は避ける。●当年はギンギン類の黄化のみで翌年春に枯死する。●秋期散布は、最終採草後に行う。●散布14日間は放牧を行わない。
	ギンギン類					アーザラン液剤 (500ml、2L)		秋処理（10月上～中旬） ギンギン類の栄養成長期（ただし、最終採草後）	200～300ml	
更新用草地	一年生及び 多年生雑草					ラウンドアップマックスロード（200ml、 1L、5.5L、20L、 200L）	雑草茎葉 散布	雑草の生育期 （耕起の10日以前）	200～300ml （水25～50L）	●専用ノズルを使用する。●刈取後は前植生の再生を待つて処理する。●ギンギン類は300～500mlで使用する。 ●専用ノズルを使用する。 ●泥炭土での使用は避ける（ただし、表土の土砂含量が55%を超える場合はその限りではない）。
	一年生及び 多年生雑草						播種前雑草 茎葉散布	播種床の雑草発生前期（播種 10日前から播種当日まで）	200～300ml （水50L）	

※令和6年度北海道農作物病害虫・雑草防除ガイドを参考に作成した。

※農薬の使用に当たっては適用作物、使用時期、使用濃度、使用量、注意書き等、農薬容器のラベルに記載された事項等を遵守し、農薬安全使用基準に沿って、安全かつ適正に使用するようにしてください。

※ソルガムに使用できる除草剤はP.44をご参照ください。

牧草種子の混播例

- 播種量はブロードキャスターによる作業を想定しています。
- マメ科牧草は全てハイパーコート加工種子です。



草種	早晚性 (タイプ)	品種 ¹⁾	播種量 (kg/10a)
採草① チモシー早生主体			
チモシー	早生	マオイ	2.1
アカクローバ	晩生	SWアレス	0.2
シロクローバ	中葉型	アバラスティング	0.2
計			2.5
採草② チモシー早生主体アルファルファ混播			
チモシー	早生	マオイ	2.0
アルファルファ	早生	ケレス2	0.3
シロクローバ	中葉型	アバラスティング	0.2
計			2.5
採草③ チモシー中生主体アルファルファ混播			
チモシー	中生の早	アルテミス (SBT0308)	2.0
アルファルファ	早生	ケレス2	0.3
シロクローバ	小葉型	アバパール	0.2
計			2.5
採草④ チモシー中生主体 採草及び兼用草地			
チモシー	中生	ヘリオス (SBT0310)	2.3
シロクローバ	小葉型	アバパール	0.2
計			2.5
採草⑤ オーチャードグラス主体 採草及び兼用草地(道東向け)			
オーチャード グラス	中生の晩 ／晩生	えさじまん ／バックス	2.0
メドウフェスク*	早生	コスモポリタン	0.5
シロクローバ	大葉型	ルナメイ	0.2
計			2.7
※道央・道北・道南地域ではメドウフェスクをペレニアルライグラスに置き換え可能			
採草⑥ オーチャードグラス主体 アルファルファ混播			
オーチャード グラス	中生の晩 ／晩生	えさじまん ／バックス	2.3
アルファルファ	早生	ケレス2	0.5
シロクローバ	大葉型	ルナメイ	0.2
計			3.0
採草⑦ イタリアンライグラス主体 水田転換向け			
イタリアン ライグラス	早生	マンモスイタリオンB (ビリケン)	4.0
シロクローバ	大葉型	ルナメイ	0.5
計			4.5
採草⑧ アルファルファ主体 チモシー混播			
アルファルファ	早生	ケレス2	1.5
チモシー	早生	マオイ	1.3
シロクローバ	中葉型	アバラスティング	0.2
計			3.0

草種	早晚性 (タイプ)	品種 ¹⁾	播種量 (kg/10a)
放牧① チモシー主体			
チモシー	晩生	キウス	2.3
シロクローバ	小葉型	アバパール	0.2
計			2.5
放牧② ペレニアルライグラス主体 (道央・道北・道南向け)			
ペレニアル ライグラス	晩生	フレンド	2.7
シロクローバ	中葉型	アバラスティング	0.3
計			3.0
放牧③ メドウフェスク主体 (道東向け)			
メドウフェスク	早生	コスモポリタン	2.7
シロクローバ	中葉型	アバラスティング	0.3
計			3.0
放牧④ オーチャードグラス主体 (道東向け)			
オーチャード グラス	晩生 ／中生の晩	バックス ／えさじまん	2.2
メドウフェスク*	早生	コスモポリタン	0.5
シロクローバ	中葉型	アバラスティング	0.3
計			3.0
※道央・道北・道南地域ではメドウフェスクをペレニアルライグラスに置き換え可能			
放牧⑤ ケンタッキーブルーグラス主体 軽種馬用向け			
ケンタッキー ブルーグラス	早生	ラトー	5.5
チモシー	晩生	キウス	0.5
計			6.0

種子の形状 (方眼・目盛は各1mm)



チモシー



オーチャードグラス



ペレニアルライグラス



メドウフェスク



ケンタッキーブルーグラス



シロクローバコート種子

- 1) 品種名と商品名が異なる品目は、品種名を()書きで記載しております。
- 2) 各品種の品種登録の有無や海外持出制限等の利用条件についてはP58-59をご確認ください。

牧草類 (イネ科)

○:適する ○:可能 ×:不適

種 類	品 種 ¹⁾²⁾³⁾	海外持出 禁止 ⁴⁾	早晩性 (タイプ)	主な特性	適地		用途		播種量 (kg/10a)
					乾燥地	湿潤地	採草	放牧	
チモシー	クンプウ		極早生	萌芽・再生が良好な極早生品種	○	○	○	○	2.0~2.5
	センプウ ⁵⁾	●	極早生	多収で競合力・斑点病抵抗性に優れる	○	○	○	○	2.0~2.5
	マオイ PVP	●	早 生	収量性・再生力・耐倒伏性に優れる	○	○	○	○	2.0~2.5
	ノサップ		早 生	再生・耐病性に優れる品種	○	○	○	○	2.0~2.5
	なつちから PVP	●	早 生	2番草の再生力に優れる早生品種	○	○	○	○	2.0~2.5
	アルテミス (SBT0308) PVP	●	中生の早	再生力に優れ、アルファルファとの混播が可能な多収品種	○	○	○	○	2.0~2.5
	なつびりか PVP	●	中 生	耐倒伏性に優れる多収品種	○	○	○	○	2.0~2.5
	アツケシ		中 生	斑点病抵抗性に優れる中生品種	○	○	○	○	2.0~2.5
	ヘリオス (SBT0310) PVP	●	中 生	採草・放牧共に適するオールマイティな中生品種	○	○	○	○	2.0~2.5
	キリタツプ		中 生	中生の中でもやや遅い品種	○	○	○	○	2.0~2.5
	センリョク ⁵⁾	●	中 生	採草・放牧利用時ともに収量性・耐倒伏性に優れる	○	○	○	○	2.0~2.5
	シリウス ⁶⁾ PVP	●	晩 生	1番草が多収な採草用晩生品種	○	○	○	○	2.0~2.5
	キウス PVP	●	晩 生	放牧での収量が多く、分げつ密度が高い新品種	○	○	○	○	2.0~2.5
	なつさかり PVP	●	晩 生	採草および放牧用品種	○	○	○	○	2.0~2.5
オーチャードグラス	はるねみどり PVP	●	早 生	越冬性と春・秋の生育に優れる	○	○	○	○	2.0~2.5
	えさじまん PVP	●	中生の晩	糖含量が多く、多収なニュータイプの中生品種	○	○	○	○	2.0~2.5
	ハルジマン	●	中 生	越冬性・耐病性に優れる	○	○	○	○	2.0~2.5
	バックス ⁶⁾ PVP	●	晩 生	越冬性・春の萌芽・収量性に優れる晩生品種	○	○	○	○	2.0~2.5
	パイカル PVP	●	晩 生	越冬性に優れる晩生品種	○	○	○	○	2.0~2.5
	トヨミドリ		極晩生	越冬性に優れる多収品種	○	○	○	○	2.0~2.5
ペレニアルライグラス	チニタ PVP	●	中 生	1番草は採草、その後放牧する兼用利用に適する	○	○	○	○	2.0~2.5
	フレンド		晩 生	旺盛な再生力で集約放牧に適する 永続性に優れる	○	○	○	○	2.0~2.5
	ポコロ		晩 生	越冬性・春の萌芽に優れ、放牧に適する	○	○	○	○	2.0~2.5
フェストロリウム	ノースフェスト ^{2024 NEW} PVP	●	—	高栄養価で越冬性に優れ、追播利用にも適する新品種	○	○	○	○	2.0~2.5
メドウフェスク	コスモポリタン		早 生	越冬性・季節生産性に優れ、放牧利用に適する品種	○	○	○	○	2.0~2.5
	まきばさかえ PVP	●	早 生	雪腐病に強く、土壌凍結地帯での集約放牧に利用できる	○	○	○	○	2.0~2.5
イタリアンライグラス	マンモスイタリアンB (ピリケン)		早 生	1年生で生育が早く多収。春播きが基本	○	○	○	○	3.0~4.0
ケンタッキー ブルーグラス	ラトー		早 生	初期生育、サビ病抵抗性、収量性に優れる	○	○	×	○	5.0~6.0

1) 品種名と商品名が異なる品目は、品種名を()書きで記載しております。

2) 全て北海道優良品種

3) 青文字は弊社がおすすめする品種です。

4) 海外持出禁止(農林水産大臣公示)

5) 品種登録出願中(出願公表中)

6) 失効予定日2025年1月20日

その他の飼料用作物

種 類	品 種 ¹⁾	早晩性 (タイプ)	主な特性	適地		播種量 (kg/10a)
				乾燥地	湿潤地	
エンバク	夏疾風 ²⁾ ^{2025 北海道NEW}	極早生	草丈が高く、大柄。収量性、耐倒伏性に優れる	○	○	8.0~10.0
	とちゆたか	中 生	出穂は品種「隼」よりも10日程度遅い。耐倒伏性に優れ、牧草との同伴栽培にも適する	○	○	8.0~10.0
ライムギ	春香	晩 生	耐寒性に優れ、9月中下旬播種で越冬利用可能 紅色雪腐病の抵抗性に優れる	○	○	8.0~10.0
	R-007(ウィーラー)	極晩生	耐寒性に優れ、9月中下旬播種で越冬利用可能 紅色雪腐病の抵抗性に優れる 出穂始は品種「春香」よりも3~5日遅い	○	○	8.0~10.0
ソルガム	雪印ハイブリッドソルゴー (FS1261) ^{2024 北海道NEW}	早生	高糖分タイプの早生品種	○	○	1.0~2.0
	シュガーグレイズ ^{2024 北海道NEW}	中生	高糖分タイプで低温条件下での生育に優れる	○	○	1.0~2.0
	ビッグシュガーソルゴー (シュークロソルゴー 405) ^{2024 北海道NEW}	晩生	大柄で乾物収量が多収	○	○	1.0~2.0
パールミレット	ネマレット (ADR300) ^{2024 北海道NEW}	—	短期間で高収量を確保しやすい 酸性や粘土質土壌にも適応する	○	○	3.0~4.0

1) 品種名と商品名が異なる品目は、品種名を()書きで記載しております。

2) 品種登録出願中(出願公表中)、海外持出禁止(農林水産大臣公示)

牧草類 (マメ科)

○:適する ○:可能 ×:不適

種 類	品 種 ¹⁾²⁾³⁾	海外持出 禁止 ⁴⁾	早晩性 (タイプ)	主な特性	適地		用途		播種量 (kg/10a)
					乾燥地	湿潤地	採草	放牧	
アカクローバ	ナツユウ PVP ⁵⁾	●	早 生	2番草の生育が穏やかでチモシーとの混播に適する	○	○	○	×	混播0.1~0.3
	リョクユウ PVP	●	早 生	オーチャードグラス、チモシー極早生との混播適性に優れる	○	○	○	×	混播0.1~0.3
	SW アレス		晩 生	生育が穏やかでチモシー中生品種との混播に最適 永続性に優れる	○	○	○	×	混播0.1~0.3
シロクローバ	アバパール		小 葉	チモシー中生・晩生品種との混播に適し、越冬性と永続性に優れる	○	○	○	○	混播0.1~0.3
	アバラストイング		中 葉	生育が穏やかな中葉型で、チモシー早生品種との混播に適する	○	○	○	○	混播0.1~0.3
	ルナメイ		大 葉	大葉型で、越冬性に優れ、季節変動が少ない	○	○	○	○	混播0.1~0.3
	タホラⅡ		小 葉	永続性と混播適性に優れる	○	○	○	○	混播0.1~0.3
	フィア (グラスランズ フィア)		中 葉	条件の悪い地域でも永続性良好な中葉型品種	○	○	○	○	混播0.1~0.3
	ソーニャ		中 葉	再生力の旺盛な中葉型品種。密度が高く越冬性も良好	○	○	○	○	混播0.1~0.3
	リースリング		中 葉	競合力が強い中葉型品種	○	○	○	○	混播0.1~0.3
アルファルファ	ケレス PVP	●	早 生	越冬性とそばかす病抵抗性に優れる多収品種 パーティシリウム萎ちょう病抵抗性品種	○	×	○	×	単播2.0~2.5
	ケレス2 PVP	●	早 生	ケレスよりさらに収量性、越冬性を改良した後継品種	○	×	○	×	単播2.0~2.5
	カール ^{2025 NEW}		早 生	生育が穏やかでチモシー中生品種との混播適性 が優れる新品種	○	×	○	×	単播2.0~2.5
	ハルワカバ PVP	●	早 生	越冬性に優れる パーティシリウム萎ちょう病抵抗性品種	○	×	○	×	単播2.0~2.5
	ウシモスキー PVP	●	早 生	多収で越冬性に優れる パーティシリウム萎ちょう病抵抗性品種	○	×	○	×	単播2.0~2.5

1) 品種名と商品名が異なる品目は、品種名を()書きで記載しております。

2) 全て北海道優良品種

3) 青文字は弊社がおすすめする品種です。

4) 海外持出禁止(農林水産大臣公示有)

5) 失効予定日2024年11月9日

トウモロコシ

※評点は9:極良好~1:極不良

商品名	品 種	熟期	北海道 ¹⁾ 統一RM(総体)	初期 生育	耐倒 伏性	すず 紋病	根腐病	ごま 葉枯病	子実 収量	TDN 収量	栽植本数 本/10a	ワンホープ 乳割 適応性	ワンホープ ²⁾ エースOD 適応性	備考
ニューデント78ソリード	Anjou227	78		9	7	8	7	7	9	9	7~8,000	可	可	北海道優良品種
ニューデント80	LG31207	80	76	9	8	8	7	8	9	9	8,000	可	可	北海道優良品種
ニューデント85	エリオット	85		8	7	9	7	8	9	9	8,000	可	可	北海道優良品種
ニューデント85	LG31223	85		8	6	8	8	8	8	9	7~8,000	可	—	
ネオデント・ユミル85	SL19017 ^{2025 NEW}	85		8	7	9	8	8	8	9	7~8,000	可	—	
ニューデント85V	ビビアン	85		8	9	8	9	7	8	8	8,000	可	可	
ネオデント・エミナ88	SH14081 ^{2024 NEW}	88	88	9	9	9	9	8	8	8	8~9,000	可	可	北海道優良品種
ニューデント90	LG31295	90		9	6	9	9	7	9	9	7~8,000	可	不可	
ネオデント・クロノス90	SL12029	90		9	8	8	8	8	9	8	8~9,000	可	可	
ネオデント・アシル90	SH1353	90		9	9	9	9	8	8	8	7~8,000	可	可	北海道優良品種
ネオデント・エスパス95	SL0746	95		8	8	7	8	8	9	8	8,000	可	可	北海道優良品種
ネオデント・マグナス95	SHY4041 ^{2025 NEW}	95		9	6	8	8	8	9	9	8,000	可	不可	北海道優良品種
ニューデント100	LG3457	100		8	9	7	9	7	8	8	8,000	可	可	
—	LG3490	102		7	7	8	8	8	9	9	7~8,000	可	可	
ニューデント105	LG2533	105		7	9	9	8	8	8	8	8,000	可	可	
スノーデント110	LG30500	110		8	8	9	9	9	9	9	7,000	可	可	北海道優良品種
スノーデント115	LG31.588	115		8	9	9	9	9	9	9	7,000	可	—	

1) 北海道統一RM(総体)とは、飼料用トウモロコシの早晩性を各社横並びで評価出来るよう道総研畜産試験場により開発された指標(平成28年度指導参考事項)です。総体乾物率30%に達するまでの早晩のみで決定しているため、既存の早晩性表記とは順列が異なる場合があります。当面、表記は平成30年以降認定の極早生から早生の優良品種を対象としています。詳しくは畜産試験場飼料環境グループ(TEL0156-64-0620)までお問い合わせいただくか、右記のホームページ(2次元バーコード)を参照してください。

2) —: 適応性試験実施中

除草剤「ワンホープ乳割」及び「ワンホープエースOD」は適応性「可」と記載されていても、高温な日(最高気温30℃以上)、または乾燥により作物がストレスを受けている状態では使用しないでください。





雪印種苗株式会社

<https://www.snowseed.co.jp/>

本社 〒004-8531 札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号
 北海道研究農場 〒069-1464 夕張郡長沼町字幌内1066番地5
 技術研究所 〒069-0832 江別市西野幌36番地1
 道央営業所 〒059-1373 苫小牧市真砂町35番地23
 八雲営業所 〒049-3113 二海郡八雲町相生町100番地3
 旭川営業所 〒079-8452 旭川市永山北2条7丁目8番地15
 豊富営業所 〒098-4100 天塩郡豊富町字上サロベツ3228番地12
 釧路営業所 〒084-0905 釧路市鳥取南5丁目1番17号
 帯広営業所 〒082-0005 河西郡芽室町東芽室基線13番26
 別海営業所 〒086-0345 野付郡別海町中西別192番地6
 北見営業所 〒090-0805 北見市清月町18番地13

☎ (011) 891-5911(代) FAX (011) 891-5920
 ☎ (0123) 84-2121 FAX (0123) 82-6101
 ☎ (011) 384-2855 FAX (011) 380-2050
 ☎ (0144) 56-1311 FAX (0144) 51-5019
 ☎ (0137) 64-3211 FAX (0137) 64-2695
 ☎ (0166) 47-3320 FAX (0166) 47-5361
 ☎ (0162) 82-3026 FAX (0162) 82-2940
 ☎ (0154) 51-1641 FAX (0154) 51-2410
 ☎ (0155) 62-8181 FAX (0155) 62-8585
 ☎ (0153) 75-6211 FAX (0153) 75-6670
 ☎ (0157) 61-3131 FAX (0157) 61-3134



会社ホームページ



畜産技術情報
ゆきたねネット



このカタログは、震災復興型カーボンオフセット川紙を使用することにより、CO2削減活動ならびに東日本大震災被災地復興を応援しています。

※本カタログの内容（記事・写真・イラスト等）を無断で複写・転載することを禁止いたします。
2024年9月作成